

2026年12月期 第1四半期 決算説明資料

2026年5月14日

1. 2026年12月期 第1四半期 実績

- ① サマリー
- ② 連結業績
- ③ 連結業績 年度推移
- ④ セグメント業績
- ⑤ 【ご参考】単体セグメント業績 年度推移

2. 2026年12月期 通期計画

- ① サマリー
- ② 通期計画
- ③ トピックス

1. 2026年12月期 第1四半期 実績

- ① サマリー
- ② 連結業績
- ③ 連結業績 年度推移
- ④ セグメント業績
- ⑤ 【ご参考】単体セグメント業績 年度推移

2. 2026年12月期 通期計画

- ① サマリー
- ② 通期計画
- ③ トピックス

① 2026年12月期 第1四半期 サマリー

- ・第1四半期は、不安定な世界情勢を背景に一段と加速した物価高の影響もある中、
売上高は+6.1%と前年を上回って堅調に推移。
- ・**販管費**については、依然として継続する原材料費高騰の影響を受け、実額は前年を上回ったが、その上昇幅は売上総利益の**増収幅を下回ってコントロール。**
- ・以上の結果、**営業損失は▲1億67百万円、対前年+66百万円**となり、当社の事業構造上、需要閑散期で営業損失となる第1四半期としては**過去最少の損失。**
- ・**当期純利益**は固定資産売却益も含め、**7億94百万円 対前年+8億61百万円の黒字化。**

②2026年度 第1四半期 連結業績

売上高 : 継続するレンタル部門の好調もあり、**連結売上高は+6.1%と堅調に推移**。
販管費 : 売上連動経費や作業費等の増加はあるものの、**売上総利益を下回る増加額にとどめる**。
営業利益 : 高利益率のレンタル部門増収効果やクリーニングの構造改革により**第1Q損失は過去最少**。
当期純利益 : 営業損失減少に加え、固定資産売却益約11億円を含み、**前年の最終損失から黒字化**。

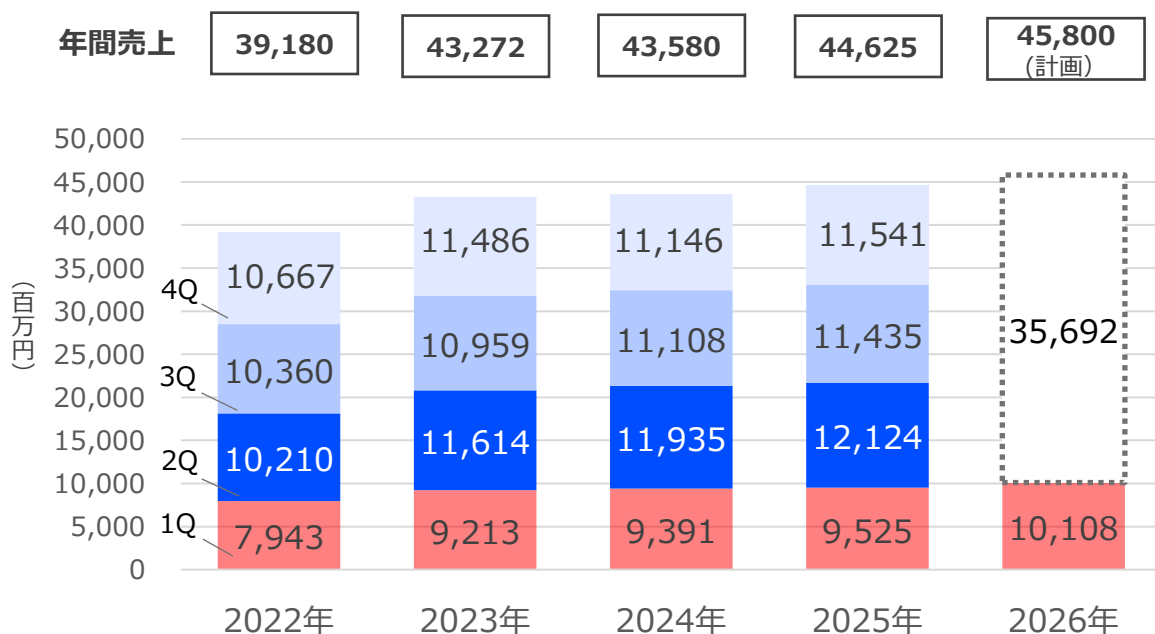
	1 Q実績			前年 1 Q実績
		前年比	前年増減額	
売上高	10,108	+6.1%	+582	9,525
売上総利益	1,052	+21.4%	+185	866
販管費	1,219	+10.9%	+119	1,099
営業利益	△167	+28.3%	+66	△233
経常利益	△116	+26.0%	+41	△157
親会社に帰属する 四半期純利益	794	---	+861	△67

単位：百万円

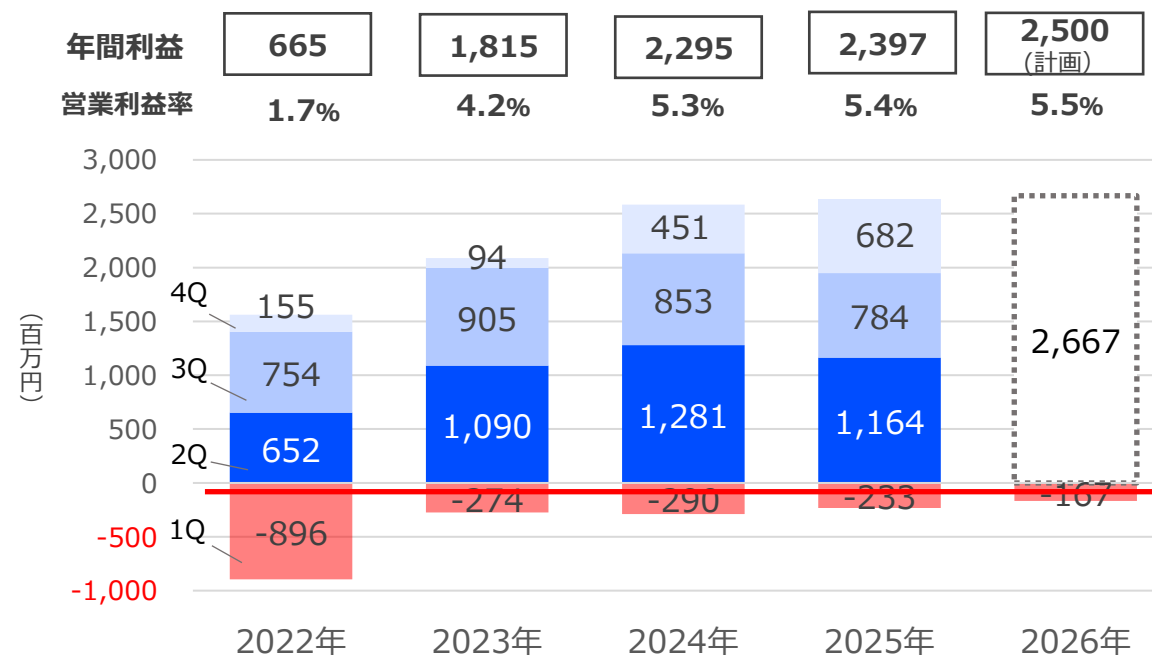
③2026年度 第1四半期 連結業績 年度推移

- ・連結の売上高、営業利益の推移では、第一四半期はクリーニング事業の季節性要因が連結に影響するため営業損失となるが、その**損失額は年々減少している**。
- ・理由として、**クリーニング事業における構造改革の進捗**や、**利益率の高いレンタル事業の伸長**によるものであり、連結全体で前年に対して**増収増益を継続しながら利益率の向上**も実現している。

売上高



営業利益



1. 2026年12月期 第1四半期 実績

④2026年12月期 第1四半期 セグメント別業績

クリーニング : 店舗減少はあるも、価格改定や構造改革を進め、**増益**。

レンタル : 価格改定に加えインバウンド好調継続や、国内大手チェーン等の需要安定により**大幅増収増益**

	売上高			営業利益		
		前年比	前年増減額		前年比	前年増減額
クリーニング	2,836	+0.2%	+5	△410	+16.2%	+79
レンタル	7,019	+8.0%	+521	770	+17.1%	+112
不動産・その他	251	+28.6%	+56	111	△0.9%	△1
調整額 (セグメント間消去 ・全社費用)	-	-	-	△639	-	△125
連結計	10,108	+6.1%	+582	△167	+28.3%	+66

単位：百万円

1. 2026年12月期 第1四半期 実績

⑤2026年12月期第1四半期（単体）セグメント別売上高

ご参考：単体売上高/年度別

単位：百万円	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2026年	
						前年比	前年増減額
ドライ・オリジナル	768	851	723	715	731	+2.2%	+16
ローヤル	946	1,034	916	939	956	+1.8%	+17
ランドリー	1,055	1,167	1,306	1,247	1,268	+1.7%	+21
リネンサプライ	1,066	1,527	1,989	2,097	2,327	+11.0%	+230
ユニフォームレンタル	1,288	1,367	1,488	1,520	1,697	+11.6%	+177
その他	660	577	551	565	602	+6.5%	+37
単体計	5,783	6,523	6,974	7,083	7,581	+7.0%	+498

1. 2026年12月期 第1四半期 実績

- ① サマリー
- ② 連結業績
- ③ 連結業績 年度推移
- ④ セグメント業績
- ⑤ 【ご参考】単体セグメント業績 年度推移

2. 2026年12月期 通期計画

- ① サマリー
- ② 通期計画
- ③ トピックス

① 2026年12月期 通期計画 サマリー

2月公表の通期計画から変更なし

営業利益25億円 経常利益27億円の計画を維持

- ・依然として不透明な先行きが想定されるも、**現中期計画の最終年度として、基本方針の「構造改革の完遂」「オペレーションの磨き上げ」「マーケティングによる収益力向上」「事業ポートフォリオの最適化」を確実に進め、利益計画達成を目指す。**
- ・中東情勢関連については、1Q時点で業績に与える大きな影響はないものの、今後も状況を注視しながら準備し、適宜対応を取る。

2. 2026年12月期 通期計画

②2026年度12月期 通期計画

- ・中期計画最終年度として掲げた計画を着実に達成し、次期中期計画へつなげる
- ・中東情勢による影響は、現時点で直ちに業績見直し修正の状況にはないが、今後長期化する懸念もあるため、引き続き慎重に準備を進め、対策を取っていく

	通期計画		前年増減額	前年 通期実績	単位：百万円
		前年比			
売上高	45,800	+2.6%	+ 1,175	44,625	
営業利益	2,500	+4.3%	+ 103	2,397	
営業利益率	5.5%		+0.1	5.4%	
経常利益	2,700	+3.8%	+ 99	2,601	
親会社に帰属する 当期純利益	2,450	+14.8%	+ 317	2,133	

③トピックス

- ・当社グループは、1906年3月に創業し、翌年日本で初めてドライクリーニングを実用化しました。本年は創業120周年を迎える節目の年となります。
- ・今後も、長期ビジョン「**世界の人々の清潔で快適な空間づくりに貢献し、感動を与え続ける企業集団**」の実現を目指し、歩みを進めてまいります。



120周年記念サイト



特設サイト公開

<https://www.hakuyosha.co.jp/120th/>

120周年記念誌



歴史、経営理念の再整理

https://www.hakuyosha.co.jp/dcms_media/other/hakuyosha_120.pdf

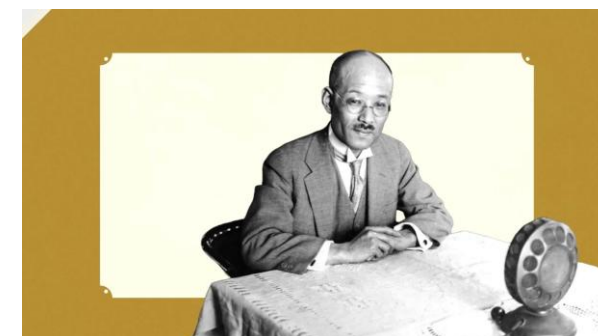
品質訴求動画



品質へのこだわりを発信

<https://www.youtube.com/watch?v=acJ8v2TbROQ>

歴史動画



創業からの歩みを映像化

<https://www.youtube.com/watch?v=JvDbQvFibx0>

本資料に記載されている内容については、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等の結果は、今後の様々な要因により、本資料の内容と異なる可能性があります。